**第2学年3組　算数科学習指導案**

**１　題材名**　はこの　形を　しらべよう

**2　本時の学習指導**

　（１）目標

　　○身のまわりにある箱の形やさいころの形の面を画用紙に写し取り、切り取って面の形や数を調べ、面の特徴を理解する。（数学的な考え方）

　（２）展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点 | 時間 |
| 問題場面  はこの形をしらべてみよう。  １　本時の問題場面について知り、課題をつかむ。  　Ｃ１ どうやってつくるのだろう。  　Ｃ２ 三角形や四角形の時もしらべ  ることをしたなあ。  本時の課題  ２　箱の面を写す。  　Ｃ１ ちゃんとおさえないとずれて  しまうなあ。  　Ｃ２ 私の持ってきた箱にでっぱっ  ているところがあるけどどう  したらいいだろう。  　Ｃ３ 端からうつしていけば全部か  けそうだ  ３　うつした面を観察し、近くの  人で気付いたことを共有する。  ４　気付いたことを発表する。  Ｃ１ 面が長方形でできています。  Ｃ２ 面の数は6個です。  Ｃ３ 同じ形の面が２つずつ3組あ  ります。  Ｃ４ 同じ面が４つあります。  ５　立方体ならどうなるか考える。  Ｃ１ ぜんぶ同じ形です。  Ｃ２ 正方形が6個です。  ５　まとめ | ○今までの、三角形や四角形での学習と関連づけられるよう  にする。  ○持ってきた箱と同じ箱を作ろうとする意欲を高められる  ようにする。  ○いろいろな箱があることに気付くように指導する。  ○「面」の用語を知らせ、箱は面によって構成されているこ  とを伝える。  はこの面を画用紙にうつして形をしらべよう  ○手本を示し、写し取る時の注意点を共有できるようにす  る。   * うつした面は印をつけるようにする。 * スペースを考えて端から写していくようにする。 * 線がガタガタにならないように箱をしっかり抑えて、鉛筆で書く。   ○机間指導を行い、写し方のわかっていない児童に説明しなおしたり、箱が潰れてしまいそうなものはテープで補強したりする。  ○特殊な形（六角柱など）を持ってきた児童がいた場合、こ  　ちらで用意していた直方体の箱で行ってもらい、時間があ  れば持ってきてもらった箱も写すように指導する。  ○画用紙を配付し名前を書くように指導する。（さまざまな大きさの紙を用意しておく）  ○作業の時間を伝え、黒板に書いておく。  ○机間指導を行い、アイデアの思い浮かばない児童に対して、面の数や形に気付けるように個別で指導を行う。  ○さまざまな意見が出るようにする。  ○Ｃ４の児童がいるかどうかあらかじめ机間指導で確認しておく。  ○Ｃ１Ｃ４の反応に、本当にみんな同じかどうかを問い返し、はこの面の形によって特徴が変わること理解できるようにする。  ○Ｃ４のように4つ同じ形がある時は、正方形が含まれていることに気付けるようにする。  ○さらに発展させて立方体ならどうか考えられるようにする。（立方体の面を写し取ったものを用意しておく）  ○児童の発言をもとにまとめていく。  ○画用紙を回収する。 | ５  １５  ５  １０  ５  ５ |

**3　板書計画**

はこの面を画用紙にうつして形をしらべよう

まとめ

例）はこの面は長方形か正方形で、6つの面があり、面のかどは直角になっている。

立方体画用紙（見本）

気がついたこと

* + ぜんぶ同じ形
  + 正方形が6個

画用紙（見本）

気がついたこと

* 面が長方形か正方形
* 面の数は6個
* 同じ形の面が２つずつ３組ある。
* 同じ面が４つある。（正方形があるはこだけ）
* 面のかどが直角になっている。

はこの形をしらべてみよう。

95